

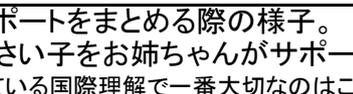
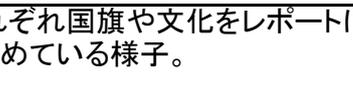
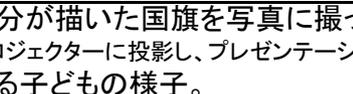
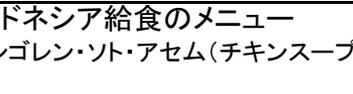
七賢人の里 おへそ保育園

タイトル	違いを認め合う心を育てる「幼児期からの国際理解教育」
応募者氏名	吉村直記
作品を通して伝えたいこと	グローバルな社会に発展している中で日本人として足りない力は、「違いを認め合う心」であると考えています。ちょっとした違いによりイジメに繋がっていき、自らの命を絶ってしまう事件も少なくありません。日本は島国であるため、日本独自の文化が発展してきました。それは素晴らしい一面もありますが、多様性を認められない価値観や思考が、現代においても色濃く残っているように思えてなりません。今後、子どもたちが違いを認めあえる和の心を見につけ、さらにはグローバルな視点を身につけるため、当園では「国際理解教育」の取り組みを幼児期（4歳・年中）から毎月取り組んでいます。 幼児期から多様な価値観や、海外の素晴らしさに触れて興味を持つことで、将来、世界を舞台に大きく飛躍し、活躍してくれることを期待しています。
実践者氏名／団体名	吉村直記・諸岡琴美／七賢人の里 おへそ保育園
実施日・期間	平成26年7月～毎月実施（現在も継続中）※別紙参考資料は今年度に入ってからのも
主な実施場所	おへそ保育園園内
取り組みへの参加者及び人数	おへそ保育園の園児（年中・年長児）・約15名
目標・ねらい	①多様な価値観、違いを認め合う心を養う ②世界を学ぶことで「世界って楽しい！」という興味感心を引き出す ③ICTを活用し、みんなの前でプレゼンテーションを行うことで、自分の考えや意見を堂々と伝える力を育みグローバルに活躍できる人材を育てる
具体的な取り組み内容及び工夫・配慮した点等	<p><b>【取り組みの基本的な流れ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員からその国のおおまかな文化を伝える</li> <li>2) 地球儀やグーグルアースで国の位置や、その国の文化が載っている本を確認しながら自分たちで振り返り</li> <li>3) 子どもたちが楽しめる製作や活動を実践する（ex:モンゴルであればモンゴル相撲、インドネシアであればインドネシアオリジナルじゃんけん等）</li> <li>4) 一人一人レポート作成（それぞれ興味を持った文化を絵・文字で表現する）</li> <li>5) レポートをIPADでプロジェクタースクリーンに映しながら、所感も踏まえてプレゼンテーションを行う</li> <li>6) 国際理解教育に取り組んだ日の給食を「国際理解メニュー」と題して、その国の有名なメニューを実際に食べる</li> </ol> <p><b>【工夫点】</b> 保育園という場所を活かし、食文化まで発展させ、文化を学ぶ方法として給食で「国際理解メニュー」を提供することを実践した。子どもたちは五感で世界を学ぶ取り組みが実現し、子どもたちの興味感心を引き出すことができた。</p> <p><b>【実際に前年度の国際理解教育「韓国」に取り組んでいる様子（映像）】</b> YOUTUBEにアクセスしてご覧ください⇒<a href="https://youtu.be/F2ukNF_Zem8">https://youtu.be/F2ukNF_Zem8</a></p>
教材・資料	ちずこっき（アプリケーション）・グーグルアース・地球儀・プロジェクター・スクリーン・IPAD・色鉛筆・クレヨン・画用紙・国際理解メニュー（給食）
成果	1) 海外に興味を強く持つことにつながり、家庭でも世界の話をするようになったという保護者の声 2) みんなの前でプレゼンテーションする実践を積み重ねることで、最初は恥ずかしくて発表できなかった子どもたちも今では全員が堂々と発表できるまでに成長している。3) 子どもたちは、他文化の挨拶等を遊び感覚で普段の生活の中に自然に取り入れており、違いを認め合う心に繋がっている。
今後の展開、発展（この取り組みの生かし方）	この取り組みを当園のHP等で積極的に発信し、佐賀に住む、海外出身の子どもたちが当園を利用することで、グローバルな環境を園内でも創っていきたいと思います。また、当園の取り組みを通じて、全国の保育園・幼稚園の「国際理解教育」の発展に寄与できれば幸いです。

今回の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育「台湾」</li> <li>・IPADを活用したプレゼンテーション</li> <li>・台湾の給食メニュー「ごはん・春巻き・台湾浅漬け・中華スープ」</li> </ul>		
授業の流れ	授業の内容	授業の様子(写真)	
	10:00～準備・機材セッティング 10:20～スタート ・GoogleEarth⇒日本と台湾の位置関係 ・アプリ「指さし会話・台湾」 ⇒代表の園児に操作を依頼 台湾の挨拶をみんなで聞いて発音	①  ②  今年度初めての国際理解の時間。台湾の位置を地球儀を使ってみんなで探しています。文化を先生からおおまかに説明中。	
	10:35～職員より文化について話 ・日本から台湾へ「感謝」の動画  10:50～創作活動 3人×6グループ 2グループ⇒衣装づくり 4グループ⇒お絵かきづくり	③  ④  創作活動・・・衣装づくりと国旗づくり等のグループに別れてそれぞれ台湾をテーマに製作中。台湾の衣装を来ている年長さん。立派に完成しました。台湾のことをより理解していきます。	
	11:25～プレゼンテーション  12:00～台湾給食  12:30 終了	⑤  ⑥  製作した作品をみんなで前で発表。IPADを活用しながら「伝える力」をつけていきます。台湾給食メニュー ごはん・春巻き・台湾浅漬け・中華スープ 美味しい台湾給食でした！	
	本授業が後にもたらした効果	<p><u>後日、台湾が東日本大震災の時にたくさん義援金を送ってくれたことを授業で学び、職員からネパール地震に対しおへそ保育園から支援をしようと提案すると、子どもたちから「国旗を書こう！」「お手紙を書こう！」といった提案が多数あり、佐賀県の国際交流協会を通じて、義援金を贈った。</u>その時の様子は、各メディアでも取り上げられて子どもたちとしても良い思い出、経験、そして、世界に目を向ける機会に繋がった。</p>	⑦  ⑧  ネパール地震への義援金を贈る様子が新聞社に取り上げられた。(佐賀新聞 H27.5.13) 子どもたちからのエールを受け、涙を流す、佐賀県在中のネパール人の方々。
	考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に入ってから国際理解。年長、年中クラス合わせて17人、集中して授業に参加できた。</li> <li>・GoogleEarthを活用し、日本と台湾の位置関係を説明。その後、地球儀を使って最後、台湾の位置を確認。子どもたち同士で「ここが日本だから・・・」と日本の位置をヒントに台湾を探したり、見つけた子が他の子に教えたりと学びあいの姿が見られた。</li> <li>・日本から台湾への東日本大震災の「感謝」のムービーを見せた。子ども向けではなかったが、子どもの方から「感動した」という感想を述べた。</li> <li>・創作活動は今年度初めてということもあって、描きだすのに時間がかかる子もいたが、それぞれ個性的な絵や 衣装ができていた。</li> <li>・年長さんの発表はみんな声も大きく堂々としていた。年中さんはみんなの前に立つだけで緊張しているようだった。これからの成長が楽しみ。</li> </ul>	

<p>今回の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育「ベトナム」</li> <li>・IPADを活用したプレゼンテーション</li> <li>・ベトナム給食メニュー「フォー・厚揚げトマト煮(ベトナム風)」</li> </ul>		
<p>授業の流れ</p>	<p>授業の内容</p> <p>10:00～準備・機材セッティング 10:20～スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GoogleEarth⇒ベトナムの位置関係</li> <li>・アプリ「指さし会話・ベトナム」⇒代表の園児に操作を依頼</li> <li>ベトナムの挨拶をみんなで聞いて発音</li> </ul> <p>10:35～職員より文化について話す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プランジャパンというボランティア団体のベトナム教育改善プロジェクトの動画を見る。 <a href="http://www.plan-japan.org/topics/world/150319viet/">http://www.plan-japan.org/topics/world/150319viet/</a></li> </ul> <p>10:50～創作活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民族衣装(帽子)ノンラーづくり</li> </ul> <p>11:25～プレゼンテーション</p> <p>12:00～ベトナム給食</p> <p>12:30 終了</p>	<p>授業の様子(写真)</p> <p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p> <p>⑤ </p> <p>⑥ </p> <p>⑦ </p> <p>⑧ </p>	
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員からのベトナムのお話は集中して聞いていた。</li> <li>・ボランティアに関する動画ではネパールと混合しているようだった。(※ネパール大地震のことを先月から多く見聞きしてるため)</li> <li>・ノンラー作りやお絵描きは短時間でしたが、とてもうまくできていた。</li> <li>・子どもたちの感想がお絵かきをしたことが多く、ベトナムに関する感想があまり聴けなかった。もう少し内容を簡潔に分かりやすくする。</li> <li>・情報が多すぎて「国際理解」という認識が浸透していない様子。</li> <li>・給食は美味しく食べることができた。</li> <li>・学校に当たり前には通えない子どもたちを学んだことで、真剣な表情になった。</li> </ul> <p>日本と豊かな環境を改めて感じる機会になったのではないか。</p>		

今回の内容	・国際理解教育「モンゴル」 ・IPADを活用したプレゼンテーション モンゴル給食メニュー「ポーズ」		
	授業の内容	授業の様子(写真)	
授業の流れ	10:00～準備・機材セッティング 10:20～スタート ・GoogleEarth⇒モンゴルの位置関係 ・アプリ「指さし会話・モンゴル」 ⇒代表の園児に操作を依頼 モンゴルの挨拶をみんなで聞いて発音	① 	② 
	10:30～モンゴル相撲開始 ・2回戦まで行う	モンゴルのゲルに子どもたちはとても興味を持った。 家が移動するなんて！という感想。	モンゴル出身で日本で活躍する力士の紹介。子どもたち、興味津々！
	10:35～職員より文化について話し ・ゲルや食べ物を中心に		④ 
	10:50～地球儀で位置を確認	日本の相撲にモンゴルの力士がたくさんいることを知って、興味がグングン増している様子の子どもたち。	いざ、モンゴル相撲対決。 みんなで2回戦までトーナメントを組んで行った。
	11:05～創作活動 ・国旗や印象に残っていることをまとめる	⑤ 	⑥ 
	11:35～プレゼンテーション	地球儀でモンゴルの位置を確認。	学んだことをレポートにまとめる。 国旗を描いた子が自慢気に見せている様子。
	12:00～モンゴル給食 「ポーズ」という日本でいうしゅうまいのようなモンゴルメニューを食べる。	⑦ 	⑧ 
	12:30 終了	自分が描いた国旗を写真に撮ってプロジェクターに投影し、プレゼンテーションする子どもの様子。	他クラスの子どもたちもモンゴルのメニューに喜んでいる様子。
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル相撲はとても楽しそうだった。(今後も体を動かして学べる取り組みを行っていきたい)</li> <li>・今回は前回の反省があり、スライド数を減らした。子どもたちはちょっと物足りない様子もあったが、時間としては丁度よく感じた。(スライド10枚)</li> <li>・国の紹介、なるべく子どもたちと対話形式にて、子どもたちの発言を増やすようにした。(子どもたちの参加意識を高めるため)</li> <li>・年長さんのプレゼンテーションはとても積極的で堂々としている。とっさに自分の頭でまとめて言葉にできる力が育っている。</li> <li>・相撲を通じて、モンゴルが身近に感じている様子がうかがえた。</li> </ul>		

今回の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育「インドネシア」</li> <li>・IPADを活用したプレゼンテーション</li> <li>・ベトナム給食メニュー「ナシゴレン・ソト・アセム(チキンスープ)」</li> </ul>		
授業の流れ	授業の内容	授業の様子(写真)	
	10:00～準備・機材セッティング 10:20～スタート ・GoogleEarth⇒インドネシアの位置関係 ・アプリ「指さし会話・インドネシア」 ⇒代表の園児に操作を依頼 インドネシアの挨拶をみんなで聞いて発音	① 	② 
	10:30～インドネシアのじゃんけんをしよう！ ・日本とは違うじゃんけんにチャレンジした。 職員VS子どもたちで対決した。 日本のグー・チョキ・パーに代わって、ゾウ・アリ・ヒトの種類がある。	インドネシアのおおまかな文化を紹介。当日にたべたナシゴレンの紹介の様子。	日本とは違うじゃんけん子どもたち興味津々！！
	10:50～地球儀で位置を確認 レポート作成スタート		④ 
	11:20～プレゼンテーション  12:00～インドネシア給食 「ナシゴレン・ソト・アセム(チキンスープ)」  12:30 終了	ジャンケンの練習を積極的に行う子どもたちの様子。	職員と一緒にじゃんけん対決を行う。
		⑤ 	⑥ 
		レポートをまとめる際の様子。小さい子をお姉ちゃんがサポートしている国際理解で一番大切なのはこれ。	それぞれ国旗や文化をレポートにまとめている様子。
		⑦ 	⑧ 
考察	自分が描いた国旗を写真に撮ってプロジェクターに投影し、プレゼンテーションする子どもの様子。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、国を紹介する時に子どもの発言を増やすようにしたからか、モンゴルの事を覚えている子が多かった。国旗や挨拶、食べ物のこともよく覚えていた。</li> <li>・子どもたちの活動を取り入れることで、国際理解の時間への取り組みが積極的になっているように感じる。挨拶やじゃんけんを一所懸命に覚えようとしていた。</li> <li>・年長児の発表がとてもよくなっている様に感じる。それぞれが、自分の言葉で楽しかった事、覚えた事を伝えていた。</li> <li>・インドネシア式のじゃんけんは、授業の後も続き、家庭でもやっているという保護者の声もあった。子どもたちの他文化への柔軟さがうかがえる。</li> </ul>			

<p>今回の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育「インド」</li> <li>・IPADを活用したプレゼンテーション</li> <li>・インド給食メニュー「チキンカレー」</li> </ul>		
<p>授業</p>	<p>授業の内容</p> <p>10:00～準備・機材セッティング 10:20～スタート ・GoogleEarth⇒インドの位置関係 ・アプリ「指さし会話・インド」 ⇒代表の園児に操作を依頼</p> <p>10:30～ ・インドの昔話「メスウシとライオン」 ・タージマハルの紹介 ・おんどりずもう</p> <p>10:50～地球儀で位置を確認 レポート作成スタート</p> <p>11:30～プレゼンテーション</p> <p>12:00～インド給食 「チキンカレー」</p> <p>12:30 終了</p>	<p>授業の様子(写真)</p> <p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p> <p>⑤ </p> <p>⑥ </p> <p>⑦ </p> <p>⑧ </p>	
<p>後日</p>	<p>後日、一時保育でお預けになられたお子さんのお父さんがインド出身ということが分かり、講師を依頼。</p> <p>先日のインドの学びを発表し、インド出身のお父さんより、「インドのことを勉強してくれて嬉しい」という感想をいただいた。また、国旗の成り立ちも丁寧に教えてもらった。</p>	<p>インド出身、イギリス在中の保護者さんが講師として来園。</p> <p>前回のプレゼンテーションを見ていただき、大変驚いた様子で褒めていただいた。</p>	
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の紹介で写真を見せると子どもたちから活発な感想や意見が出ていた。</li> <li>・おんどりずもうで体を動かした後に、インドの昔ばなしを読みましたが、みんな気持ちを切り替えて集中して読み聞かせを聴いていました。</li> <li>・前回の国際理解から1ヶ月ですが、子どもたちのひらがなのスキルが上がっていました。</li> <li>・発表は確実に慣れて上手になってきています。年中から年長さんを見習い頑張っている姿が嬉しいです。</li> </ul>		